

## インタビュー Vol.04

「むらコトアカデミー」をきっかけに、学生団体「まとい」を立ち上げ事業に参画

松村萌音さん（大学生、女性、東京都）

---

関わる地域：奈良県下北山村



Q

現在、地域のどのような活動に関わっていますか。

A

奈良県下北山村をフィールドとして活動する学生団体「まとい」を立ち上げ、空

き家改修モデル事業に参加しています。

**Q** 地域の活動に参加しようと思った経緯や目的を教えてください。

**A** 高校時代からまちづくり、地域おこしに興味を持っており、大学入学後はサークル等を通じてこれらに関わりたいと考えていました。しかし既存の学生団体でまちづくりをテーマとしているものは見当たらず、雑誌にて「むらコトアカデミー」の存在を知りました。そして、東京で開催されたイベントに参加し、下北山村とのつながりと村への興味を持ったのがきっかけです。

**Q** 継続的に地域に関わりたいと思った理由を教えてください。

**A** 「むらコトアカデミー」に参加し議論を深める中で、自分たちのような村外から訪れた人が集まったり、宿泊したりできる場所づくりを行いたいと思うようになりました。役場等の関係者との話し合いを進め、下北山村をフィールドとして活動する学生団体「まとい」を立ち上げ、同事業へ参加することになりました。

**Q** 地域の活動に継続的に参加してみて、地域に対する印象は変わりましたか。

**A** 下北山村ではもともと村の中で社会が成り立っており、村外の人との関わりが不可欠、とまでの印象はありませんでした。当初は“外の人”として関わってみようと思いましたが、空き家改修や住民の方との交流が思いのほか楽しく、人間関係も深まりました。

現在は、“外の人”というよりも、住民と一緒に楽しみながらまちづくりを行っています。

Q

今後、地域とどのように関わっていきたいですか。

A

今後はSNS等を活用しながら「まとい」の活動を広めることにより、下級生等新メンバーを加えて活動を次の世代に引き継ぎつつ、村の魅力を伝えることを目的に関わり続けたいと思います。

Q

これから地域との関わりをつくっていきたいと考える方々に対して、メッセージをお願いします。

A

人と人のご縁はどこに繋がっているか分かりません。自分が興味を持った地域に一步踏み込み、自分から関わってみることで新たな出会いや新たな考えが生まれる可能性があります。臆せず、積極的に地域と関わってみてください。



### イベントに参加した1週間の様子

初日	現地到着後、ミーティング その後、空き家改修作業
2日目	空き家改修作業 地域の方々のイベントに参加したり、木の伐倒や森林調査の見学を通し、森について学びました。
3日目	
4日目	
5日目	
6日目	

最終  
日

17時に作業を終了し、夜行バスで帰宅